



【国見小6年】(後列左から)村木知温さん、半澤華那さん、高橋凜さん、安藤優さん、高橋楓花さん、樋口綾のさん、(前列左)佐藤圭将さん、(前列右)赤井畑有美さん

国見 ジュニア 応援団

ふるさと国見町を知る。
 大事に、誇りに思う。
 国見町の応援団。

今年は私たちが
 国見町の魅力と
 元気を全国に
 発信します!



【県北中1年】
 武田莉紗さん

【県北中1年】
 藤原華凜さん

結団式

国見小学校と県北中学校の児童生徒10人からなる「国見ジュニア応援団」の結団式が6月30日、観月台文化センターで行われました。

結団式では、団長の岡崎忠昭教育長が「国見町の元気な姿と自慢のおいしい食べ物」を全国に発信していきましよう」とあいさつし、結団しました。太田久雄町長が佐藤圭将さん(国見小6年)に町旗を手渡し、「国見町のことを勉強して、自分の目で見て学んだことをPRしてください」と激励。団員を代表して赤井畑有美さん(国見小6年)が、「国見町の魅力を全国に発信していきます」と決意を述べました。

今後、団員のみならず町の歴史や伝統文化、産業、まちづくりを学び、町が交流連携を進める岩手県平泉町や岐阜県池田町との交流活動などを通して、国見町の元気と魅力を全国に発信していきます。

平泉町を訪ねて

国見ジュニア応援団は結団後初めての体験活動として、7月14日と15日に岩手県平泉町を訪れました。

1日目 国見のモモをPR

平泉町役場で行われた平泉町児童との対面式では、お互いの名刺を交換して交流を深めた後、事前学習で学んだ国見町の歴史や文化を紹介し、町特産のモモをPRしました。

また、「水かけ神輿」宵祭り会場の観自在王院で、国見のモモのPR活動を体験。団員は、同行したモモ生産者の黒田壤さんとともに、積極的にモモをPRし、2日間で用意したモモ約100箱は完売となりました。

2日目 水かけ神輿を体験

「水かけ神輿」は、沿道からの清め水を浴びながら神輿が練り歩く祭りで、平泉町の夏の風物詩。団員は全身ずぶ濡れになりながらも、「わっしょい! わっしょい!」と元気な掛け声とともに、中尊寺までの約6キロメートルを見事完歩しました。

国見町の魅力をしっかりとPRして、平泉町との交流を深めた2日間。9月23日開催の義経まつりには平泉ジュニア歴訪団が参加する予定で、団員らは近い再会を約束しました。



手締めの音頭を取る武田さん



『国見のたからもの』No.51

弁天神社 (大字石母田字弁天沢)

阿津賀志山の南麓に位置する弁天神社付近は、古代、蝦夷勢力と大和朝廷勢力圏の境界として、「下紐の関」が置かれたとの言い伝えがある場所のひとつです。「下紐」とは万葉集などの恋歌に多く現れ、「固く結ぶ」にかかる言葉で、後に「伊達の大木戸」と呼ばれるこの関が、堅固であったと解することができます。

古代東山道の湧水地であるこの場所からは、きれいな三角形の阿津賀志山を望むことができ、国見峠を越えようとする旅人たちのオアシスだったかもしれません。

【問い合わせ：歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967】

～今月の表紙～



藤田保育所のプールの時間。夏の空に、子どもたちの元気いっぱいな歓声が響き渡りました。

目次

- 2 目次
- 3 国見ジュニア応援団
- 4 沢木順ミュージカルコンサート2018
- 5 三屋裕子講演会 in 国見
- 6 今年もおいしいモモができました
- 7 国見のおいしいトマトをめしあがれ
- 8 国見産リンゴスイーツ開発、くにもささえ愛力フェ
- 9 第23回義経まつり、藤田駅が新しくなります
- 10 夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動
- 11 みんなで考えてみませんか? 鳥獣被害対策
- 12 奨励金交付、小さな天才たち
- 13 歴まちさんぽ
- 14 まちのわだい
- 16 保健だより
- 18 暮らしの情報
- 22 生涯学習つうしん
- 24 カレンダー